

平成28年宇治田原町新名神高速道路建設に関する特別委員会

平成28年9月12日

補正予特終了後開議

議 事 日 程

- 日程第1 行政報告
新名神高速道路建設事業について
- 日程第2 その他

1. 出席委員

委員長	7番	垣内秋弘	委員
副委員長	10番	上林昌三	委員
	1番	稲石義一	委員
	2番	内田文夫	委員
	3番	山内実貴子	委員
	4番	安本修	委員
	5番	今西久美子	委員
	6番	青山美義	委員
	8番	奥村房雄	委員
	9番	原田周一	委員
	11番	谷口重和	委員
	12番	田中修	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町	長	西谷信夫	君
副町	長	田中雅和	君
教	育	増田千秋	君
総	務	久野村観	光
健	康	光嶋隆	君
福	祉		
部	長		

建設事業部長	野田泰生君
教育部長	黒川剛君
総務課長	清水清君
企画財政課長	奥谷明君
建設環境課長	垣内清文君
プロジェクト推進課長	山下仁司君
プロジェクト推進課 課長補佐	谷出智君
産業観光課長	木原浩一君
上下水道課長	下岡浩喜君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	村山和弘君
庶務係長	岡崎貴子君

開 会 午後1時30分

○委員長（垣内秋弘） 補正予算特別委員会に引き続きご苦労さまでございます。

本日の特別委員会は、6月の委員会開催後における事業進捗について、町当局より説明を願うものであります。

資料につきましては、既に配付いたしており、確認いただいておりますものとして進めさせていただきます。

それでは、ここで町長から、ご挨拶をお願いしたいと思います。町長。

○町長（西谷信夫） 先ほどは、補正予算特別委員会の慎重なご審議を賜りまして、まことにありがとうございました。また、ご提案申し上げました平成28年度宇治田原町一般会計補正予算（第2号）につきまして、全て可決すべきものということで大変ありがとうございます。重ねまして、垣内委員長、また上林副委員長におかれましては、大変ご苦労さまでございます。お疲れのところとは存じますが、新名神高速道路建設に関する特別委員会を開催していただきまして、まことにありがとうございます。

新名神高速道路事業につきましては、神戸市、箕面市での相次ぐ事故の関係で、本町内の工事につきましても約2カ月間の工事中断後、岩山工事は6月16日から、そして、第2高架橋の（下部工）工事につきましては6月29日から、それぞれ作業の安全が確認され、工事再開がされておるところでございます。

後ほど担当課のほうから、本町における事業の進捗状況につきましてご説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） ありがとうございます。

出席委員数は12名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから新名神高速道路建設に関する特別委員会を開催いたします。

会議はお手元に配付しております会議日程及び事前配付しております資料により進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

日程第1、行政報告について。

新名神高速道路建設事業の事業進捗状況について、町当局より説明願います。山下プロジェクト推進課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） 本日は特別委員会を開催いただき、まことにありがとうございます。

先ほど委員長からもございましたが、6月の委員会後からの進捗につきましてご報告をさせていただきます。

まず、1、事業進捗状況についての(1)用地取得の状況についてでございます。

郷之口地区が約44%で、大型物件を除きますと約98%でございます。岩山地区が約89%で、この2つにつきましては、前回6月から大きな動きはございません。禅定寺地区が前回39%ございましたのが、約59%という進捗が見られてございます。全て合わせまして町全体といたしましては、5月末時点から約7%進みまして、約54%となっているところでございます。

次に、(2)工事契約状況及び進捗率についてでございます。

岩山工事につきましては、株式会社第一土木が受注者で、進捗率が6月が4.7%ございましたので、現在は13.7%でございます。

宇治田原第二高架橋（下部工）工事（田原川以西）分につきましては、村本建設株式会社が受注者でございまして、進捗率はゼロでございますが、前回、工事未着手でしたが、工事のほうに着手されているというようなところでございます。

次に、後ほど詳しくご報告させていただきますが、宇治田原第一高架橋（下部工）工事の受注者が株式会社ノバックに決まりまして、本社は兵庫県姫路市にございます会社でございます。

次に、(3)今後の発注予定工事についてでございますが、宇治田原第二高架橋東（下部工）工事（田原川以東）が第3四半期の発注予定でございます。宇治田原トンネル（上り線）工事が、第3四半期発注予定から第4四半期発注予定に変更となっております。

続いて、今般、受注者が決定いたしました宇治田原第一高架橋（下部工）工事の内容につきましてご説明させていただきます。

説明会の資料のほうをごらんいただきたいというふうに思います。

工事箇所につきましては、現在進めてられてございます岩山工事箇所と同じでございます。工事延長につきましては340mとなっております。工事数量につきましては、橋台が2基、橋脚9基、基礎工といたしまして、直径1.5mのくい打ちが総延長で1,109mでございます。工事期間は平成28年7月27日から平成30年8月15日までの750日間となっております。

1-2、工事平面図をごらんください。

黄色い部分が橋脚、緑色が橋台、赤色が基礎くいとなります。基礎くいが全部で69本ございます。したがって、先ほど延長として1,109mと申し上げました

けれども、平均で16m地中にくいが入るといような形になります。

次に、3の工事工程表をごらんいただきたいというふうに思います。

準備工・片づけで、まず測量に取りかかれまして、稲刈り等の耕作が終了した後、下部工工事に実際に入っていく予定となっております。農道・通学路切り回しにつきましても、赤色の部分になってきますけれども、後ほどご説明させていただきたいというふうに思います。

次に、4の作業時間でございますが、午前8時から午後5時を予定されてございます。ただ、こちらのほう、地元や学校のほうと十分調整いただくようお願いをいたしてございます。

次に、5-1、工事車両運行経路及び5-2、交通安全要員配置図をごらんいただきたいというふうに思います。

工事現場への進入は、府道宇治田原大石東線からでございます。5-2にございます配置図によりまして、①から③に保安員のほうを配置いただくようになってございます。通行車、一般車両を優先していただくような形で誘導していただきます。

次に、5-3、工事用車両通行台数でございます。

まず、ダンプトラック、これは10トン車になります。日に1から3台、掘削土の運搬に使われるんですけども、朝夕1回入られて場内で作業されて夕方出ていかれるというようなことで、入りが1回、出が1回というふうにお伺いをしてございます。次に、大型トレーラーでございますが、鉄筋や型枠の運搬に、月に1から3台程度、また次の生コン車が、現場打ちくい施工時になりますけれども、こちらのほうが日に6台から10台、フーチング施工時に最大180台、日に運行されます。ただ、下のほうにも書かれているんですけども、延べ6日程度というようなことでございます。また、柱の立ち上げ時に日に40台の運行がございまして、そのほかに資材の運搬車が日に二、三台程度通行するというような予定でございまして。

5-4の安全対策、また7の周辺環境への対策につきましては、これまでの工事同様に対応いただくようにしていただく予定でございまして。

最後に、6の農道・通学路の切り廻しでございます。

特に禅定寺の中学生の通学路ということになってございますので、この部分で左側の赤丸部分が通学路、実際にかかる部分でございまして、こちらのほうが切り回し、迂回路を設置していただきまして、通行者の安全を図っていただくというような予定でございまして。こちらのほうにつきましては、迂回期間のほうが今のところどの程度というこ

とが未定でございまして、十分な安全対策をしていただくようお願いをしております。

また、全体に関係する話ではございますけれども、今後実施予定の地元説明会において、十分説明をしていただくようお願いいたしますのとあわせまして、住民の方々の声を大切にさせていただくということでお願いをさせていただいております。また、安全対策につきましては、引き続き協議のほうを進めてまいりたいというふうに考えてございますので、ご理解のほう賜りますようお願いを申し上げます。説明のほうは以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） 説明が終わりました。

何かございませんか。谷口委員。

○委員（谷口重和） もう今や本格的に工事も着手されますことから、以前にも申し上げておりましたネクスコに対して、橋梁やもしくは脚柱に絵なりデザイン的なものをどうかということで要望もしてきましたけれども、それは今どうなっているのかお聞きいたします。

○委員長（垣内秋弘） 山下課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） ただいまのご質問ですけれども、前回同様と言ったら申しわけないんですけれども、引き続き協議はさせていただいております。ただ、ネクスコ西日本、また中日本、東日本なりの状況をお伺いする中では、コンクリート柱に色を塗ってというところは非常にまれというふうに、以前からそちらのほうは報告をさせていただいているかと思えます。コンクリート柱じゃなしに鉄系の橋で柱でございますから、当然、さび防止というような形で塗装のほうをされますので、その場合には色が当然入ってくるということになるんですけれども、今、私どもがネクスコさんのほうと協議をさせていただいている中では、色をつけてしまうと最初はいいかもしれへんけれども、あと後々、色が落ちてきたときに感触が悪いというような形にもなりかねませんし、あと色を塗ることによって点検時、クラック等がわかりにくくなってしまいうような安全面の配慮という方向でもどうですかというようなことで、今引き続き協議はさせていただいている状況でございます。以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） 谷口委員。

○委員（谷口重和） しかし、日本アルプスへ行くと側壁に山の絵も描いているし、前も言ったように磐越ですか、トンネルのところに白鳥の絵も描いているし、クラックがどうのこうのというよりもタイル張っているコン柱もあるし、それはいえばいろいろ理由

もつくと思いますけれども、お茶の絵を描くとか、宇治田原独特の固有のものを提案しているだけで、何もない真っ白けの脚柱よりも、カラー的な色をつけようと言うているだけでなく、絵を描くとか、デザインをしてするとか、それを言うているだけで。また、いろいろ九州から北海道まで調べようと思っておりますけれども、いろいろ絵もつけているところもあるし、色もつけているところも十分それはあると思います。ただ、今、西日本はどういうふうな答えを出すか知らんけれども、もうちょっと早急に対応してほしいと思います。

それと、いざ工事に入って運搬車の出入り口、特に国道とか町道ないし農免道路のほうにもということですが、ガードマンの対応、私もいろんな仕事をしてきた経験の中から、作業車優先というのが多いんです。公道優先でなかったら何のためのガードマンか。作業車出てくるのを公道のものがとまって待つような、それはおかしい話で、それももう一回、再チェックしてほしいと思います。これは要望しておきます。以上です。

○委員長（垣内秋弘） 答弁よろしいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（垣内秋弘） ほかにないようでございますので、日程第2、その他について何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（垣内秋弘） 特にないようでございますので、これで新名神高速道路建設に関する特別委員会を終わります。

本日は大変ご苦労さまでございました。

閉 会 午後1時45分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

新名神高速道路建設に関する特別委員会委員長 垣 内 秋 弘